

移住先としての南越前町の魅力とは

田里 優加子

■活動内容

9-10月 移住に関する先行研究の調査

- ・内閣府官房の地方移住調査
- ・地方移住に関する調査
- ・RESASによる南越前町の分析

11/22 南越前町訪問

①今庄蕎麦を堪能、②蕎麦屋さんで出会った夫婦とドライブ、③玉村屋宿泊

11/23

①玉村屋プラン：つるし柿体験、②新蕎麦収穫祭、③ほかの参加者と共に花ハス農家さん取材

12月～ 幸福論に基づいた地方満足度（先行研究調査）

- ・国土政策支援事業 研究
- ・地方の生活満足度についての研究

■町との関わり

来訪期間 11/22-11/23

来訪場所 玉村屋、今庄そば道場、一ノ瀬山荘（玉村屋 つるし柿体験）

地域で関わった方々 長谷川さん（蕎麦屋さんで出会った夫婦）、野村さん（玉村屋 スタッフ）、朝倉さん、井上さん（花はす農家さん）、宇野さん、紀さん（地域おこし協力隊）

参加イベント 新蕎麦収穫祭、つるし柿体験（玉村屋 体験プラン）

■情報発信

【情報発信方法】

南越前町を訪問した際に、SNSに写真を投稿した。

友人にどのような体験ができたのかを伝えた。

【反応】

「普段できない体験ができて楽しそう、今度行ってみたい」という人が多くいた。

つるし柿体験や玉村屋の体験に興味を持ってくれた友人がいた。

南越前訪問1日目の出会った夫婦とのドライブ体験に驚かれた。

テーマパークや観光地ではなく地方に行くのも楽しそうとの声があった。

■成果（変化）

【活動を通して気づいた点・感想】

・これまで地域に関わる活動をしたことがなかったのですが、このチャレンジを通して、ガイドブックやサイトには載っていないような体験ができたことで地域に関わることの楽しさを感じました。

・今回、移住というテーマで取り組み、9月10月までは調べ学習が主な活動でホームページやネットの情報でしか南越前町という町を知ることができませんでした。しかし、実際に町を訪れた際には、地域の人との交流から調べた以上のことがわかり自分で体験することの重要性を感じました。

また、実際に町を訪れてみて地域で活動している人がそれぞれやっていることは違うけれど、自身が行っている活動に対して楽しんでいる感じが伝わってきて、今まで関わったことのない地域だったのに私も一緒に何かしてみたいと感じました。

このように地域の魅力というのは、自然やほかの地域へのアクセスだけではなく、その地域に住んでいる「人」も魅力であると感じました。

・これまで扱うことのなかった地域の公的データを扱い、どのように生かしていけるのか、先行研究を参考にしながら考えることができました。

また、座学で学んだこと（目的に応じたデータ収集から加工して考察するまでの大学の授業で学んだこと）を実践することの難しさを痛感しました。

・自主的な活動をしたことがなかったので、アポイントメントや実際に来訪する際の活動日程など初めてやることばかりでしたが、楽しんで活動することができました。

・まちみらいチャレンジを通して、蕎麦屋さんで出会った夫婦と福井観光するなど自分が思っていたより行動力があるということに気づき、自分について新しく知ることができたと思います。

■活動に関する写真等

